



# 令和8年6月秦野市議会第2回定例会月会議報告

令和8年6月秦野市議会第2回定例会月会議(予算審議)が、6月4日～6月23日の日程で開催され、市長提出議案8件、報告12件、諮問2件、陳情3件、委員会提出議案1件を審議しました。主な内容は以下の通りです。

## 1. はだのスポーツビレッジ8月から供用開始



渋沢丘陵一帯の活性化やにぎわいの創出につながるスポーツの拠点となる「はだのスポーツビレッジ」を8月1日(土)に設置するとともに、その管理等(指定管理)について定める議案(2件)が提案され、可決(賛成多数)しました。私は市内に湘南ベルマーレの育成拠点がつくられたことに加え、市内のスポーツツーリズムの推進や、将来的な渋沢丘陵の発展につながることに期待し、賛成しました。また、運営は自費で施設を整備したNPO法人湘南ベルマーレスポーツクラブが30年間にわたり指定管理を行う内容であり、適切だと判断しました。なお、利用料金などは下記となります。

### (1) 施設種別

種別	備考
多目的天然芝グラウンド	サッカーコート1面分(少年サッカー用コート2面分)
パークゴルフコース	9ホール
トライアルロード	傾斜など既存の地形を活用した、初心者向けマウンテンバイクなどのコース
管理棟	木造平屋建て

### (2) 利用料金

#### ①多目的天然芝グラウンド(1時間当たり)

利用区分	市内		市外	
	小中高生	大人	小中高生	大人
平日	4,000円	5,000円	20,000円	25,000円
土日祝日	5,000円	6,000円	25,000円	30,000円

#### ②パークゴルフ場(1ラウンド当たり)

子ども	大人
50円	100円

※小学生から保護者同伴で利用可能

#### ③トライアルロード(1時間当たり)

子ども		大人	
平日	土日祝日	平日	土日祝日
50円	100円	100円	200円

※マウンテンバイク利用は高校生以上を基本としています

## 2. 補正予算は主に「物価高騰対策」

物価高騰が続く中、市民の暮らしを守り、地域経済の活性化を図るため、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」などを活用し総額約4億9,769万円を投じた物価高騰対策が補正として提案され、可決(賛成多数)しました。私は地域の活性化は大切だと考え賛成しました。

No.	項目(金額)	内容
1	地域脱炭素推進事業費(4,125万円)	家庭における電気使用料の負担軽減やゼロカーボンシティ実現への取組を促進するため、省エネ家電への買換えに係る経費の一部を支援
2	電子地域通貨事業(2億1,644万円)	地域経済の活性化を図るため、電子地域通貨を活用した「チャージ即時ポイント付与キャンペーン」、「はだの・OMOTANコインウェルカムキャンペーン」、「プレミアムポイントバックキャンペーン」等を実施
3	水道事業会計補助金(2億4,000万円)	物価高騰の影響を受けている市民及び事業者を効果的に支援するため、令和8年3月検針分から8月検針分まで実施している口径に応じた水道料金の減額を10月検針分まで2か月間延長するに当たり、水道事業会計に対してその財源を補助

## 3. 水槽付消防ポンプ自動車の購入



消防署本署に配置されている「水槽付消防ポンプ自動車」の老朽化に伴い、更新車両を購入する議案が提案され、可決(賛成全員)しました。この車両は水槽を内蔵していることから、近年頻発する林野火災や今後開通する新東名高速道路での車両火災などへの対応強化につながると考え、賛成しました。

### <水槽付消防ポンプ自動車の詳細>

金額	97,350,000円(税込)
契約相手	日本機械工業株式会社
納入期限	令和10年3月3日
車両概要	寸法: 全長7.1m/全幅2.4m/全高3.1m 排気量: 5,120cc 燃料: 軽油 乗車定員: 6名 駆動方式: 二輪駆動 主な装備: 電動ホーススレイヤー、3,000ℓ水槽、三連はしご、バッテリー式大型油圧救助器具

# 令和8年6月第2回定例会会議 一般質問内容 やひろ伸二



先日、市民の方から「盛土による屋外ヤード」に関するご相談を受け、市内の状況について確認を行うため質問しました。また、昨今「生成AI」の急激な普及により、若年層の利用状況について懸念されることが多いことから本市の状況など、質問を行いました。主な質問内容は以下の通りです。

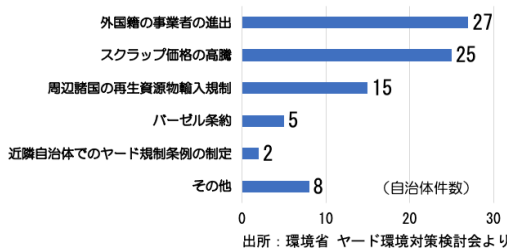
## 市内の屋外ヤード(資材置場)の状況について

### 質問

問1:全国的に屋外ヤードは問題になっているが、「秦野市まちづくり条例」における屋外ヤードの規制状況や市内の現状件数は？

問2:全国的に屋外ヤードが増えた原因の背景として、①外国籍の事業者の進出、②スクラップ価格の高騰などがある。綾瀬市では、独自の条例で年1回の立入検査を行うなど先進的な取り組みが進められているが、本市における過去の

### 再生資源物保管等事業場の数が増加した要因



の立入検査を行うなど先進的な取り組みが進められているが、本市における過去の

苦情件数や、現在の国の法規制の動きは？

問3:屋外ヤードについては、政府や国も注視しており、法整備の検討の検討が進められていると聞く。何か情報等は入っているのか？

### 回答

答1:「まちづくり条例」では敷地面積500㎡以上の環境創出行為に対して許可を必要としており、関係各課が連携して指導・承認を行っています。平成12年度から令和7年度末までに同条例で許可を受けた屋外ヤード等は、市内に計24か所あります。

答2:本市では過去10年間(平成28年度～)で、騒音4件、悪臭2件の計6件の苦情があったが、いずれも原因者への指導により解決しており、現在継続している大きなトラブルはありません。

答3:不適切なスクラップヤードを経由した海外流出も指摘されており、国は規制をかけるために、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等を改正する法案を今国会に提出し、先週6月12日に可決されています。



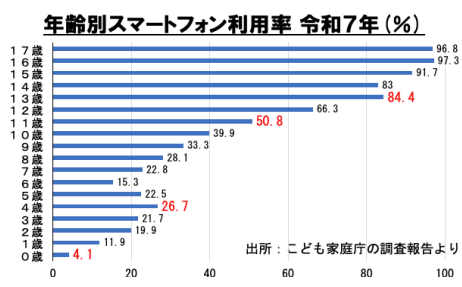
### ◆◆ 意見・要望 ◆◆

国の法整備時期は、まだ決まっていない。しっかりと注視し、時期が遅れてしまう場合には、何らかの方法を考えて欲しい。

## 生成AIの活用について ・若年層の活用状況

### 質問

問1:驚異的なスピードで浸透している「生成AI」



は、若年層の利用率も急増している。低年齢化に伴う課題や教育現場におけるハルシネーション(誤・偽情報)への対策、活用、教育方針は？

問2:若者が悩み事を家庭や友人ではなく「生成AI」に相談する時代だからこそ、個々に寄り添える「対面での身近な相談窓口」の存在を知ることが重要である。しかし、市のホームページ等での検索性は十分とはいえない。家庭や行政が一体となった効果的なリテラシー教育や情報発信が必要ではないか？

### 回答

答1:本市の学校評価の分析(家庭用ゲーム機を含む)では、小学3年生以下の情報端末所有率は約86%に上ります。多様な情報に触れられる利便性がある一方、生活習慣への影響やSNSトラブル、生成AIの誤情報を鵜呑みにしてしまうリスクが指摘されています。教育現場では、民間企業と連携し「AIとの向き合い方」の出前授業などを実施してきました。



答2:本市では「こども家庭センター」や「はだのっ子あんしん相談室」で相談に応じています。市ホームページでの検索では、適切な言葉でキーワード検索できるように早急に見直します。また、家庭での適切な利用ルール作りを促すため、今年度開設の「はだの子育てサポートサイト」等のデジタル媒体を活用し啓発に努めます。「あえて嘘を見つける体験型ワークショップ」等の教育手法も参考にしながら、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちが正しくデジタル機器と向き合える環境づくりを進めてまいります。

### ◆◆ 意見・要望 ◆◆

幼少期の「生成AI」使用は、上手く使うと「天使」、下手に使うと「悪魔」にもなるツールです。家庭で適切な対応ができるよう取組んで欲しい。